

(第一類 第八号)

第十九回国会衆議院 厚生委員會

議錄第十五号

四六八

昭和二十九年三月十七日(水曜日)	出席委員
	午後一時四十一分開議
委員長 小島 徹三君	
理事青柳 一郎君 理事中川 優思君	理事中川源一郎君 理事古屋 菊男君
理事長谷川 保君	理事長谷川 保君
助川 良平君 高橋 等君	助川 良平君 高橋 等君
降旗 德弥君 中野 四郎君	降旗 德弥君 中野 四郎君
山下 春江君 萩元たけ子君	山下 春江君 萩元たけ子君
柳田 秀一君 杉山元治郎君	柳田 秀一君 杉山元治郎君
山口シヅエ君	山口シヅエ君
出席國務大臣	
出席政府委員	
(社会局長) 厚生大臣 草薙 隆圓君	(社会局長) 厚生大臣 草薙 隆圓君
(厚生事務官引 援護局次長) 安田 巖君	(厚生事務官引 援護局次長) 安田 巖君
厚生技官公 境衛生部長 田辺 繁雄君	厚生技官公 境衛生部長 田辺 繁雄君
厚生事務官(社 会局生活課長) 棚本 正康君	厚生事務官(社 会局生活課長) 棚本 正康君
委員外の出席者	
厚生事務官(社 会局生活課長) 今村 讓君	厚生事務官(社 会局生活課長) 今村 讓君
専門員 川井 章知君	専門員 川井 章知君
専門員 引地亮太郎君	専門員 引地亮太郎君
三月十六日	
クリーニング業法における試験制度	
存続に関する請願(佐藤善一郎君紹介) (第三五二六号)	存続に関する請願(佐藤善一郎君紹介) (第三五二六号)
同(山本幸一君紹介) (第三五二七号)	同(山本幸一君紹介) (第三五二七号)
同(井堀繁雄君紹介) (第三五七〇号)	同(井堀繁雄君紹介) (第三五七〇号)
同(伊藤好道君紹介) (第三五七一号)	同(伊藤好道君紹介) (第三五七一号)
同(山本勝市君紹介) (第三五九四号)	同(山本勝市君紹介) (第三五九四号)
社会保険制度確立に関する陳情書の審査を本委員会に付託された。	社会保険制度確立に関する陳情書の審査を本委員会に付託された。

(東京都港区芝西久保町三十五番地 全国町村会長 関井仁) (第一八四号)
生活保護法による医療費支払促進に関する陳情書 (山形県知事 村山道雄 外十五名) (第一九二九号)
保健婦の身分の一元化に關する陳情書 (福井県議会議長 谷川清) (第一九三〇号)

○小島委員長 これより会議を開きます

身体障害者福祉法の一部を改正する法律案（内閣提出第四六号）（予）

児童福祉法の一部を改正する法律案（内閣提出第四七号）（予）

消費生活協同組合法の一部を改正する法律案（内閣提出第五五号）

未帰還者留守家族等援護法の一部を改正する法律案（内閣提出第六八号）（予）

医薬関係審議会設置法案（内閣提出第八二号）

医療法の一部を改正する法律案（内閣提出第八三号）（予）

あへん法案（内閣提出第八九号）

母子福祉資金の貸付等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第九七号）

厚生行政に関する件

等に関する法律の一部を改正する法律案、身体障害者福祉法の一部を改正する法律案、児童福祉法の一部を改正する法律案、未帰還者・留守家族等援護法の一部を改正する法律案及び医療法の一部を改正する法律案、以上八案を一括して議題とし、質疑を続行いたしました。長谷川保君。

○長谷川(保)委員 私は消費生活協同組合のことについてまずお尋ねしたいのです。いわゆる福祉国家といわれておきましても、あの健康な社会をつくりておりまする根底には、協同組合の運動が根強く徹底しております。そこに考えさせられるものが非常にあります。さことにまたソ連においておきましても、革命の当時一応レーニンは協同組合の組織を破壊いたしまして、たけれども、後にこれを再建し、ソ連社会の重要な制度の一つとなつておると思いますするし、また中共におきまして、いわゆる合作社の運動は今日非常に盛んであり、新しい社会をつくつて参りまする重要な一つの基盤となつておると思うのであります。こう考えて参りますると、健全なる社会、進歩的な社会において、協同組合の果す役割は非常に大きいものであります。これについて当局はどういうふうにお考えになつておるか、協同組合に対するお考えをひとつ伺つてみたいと思ひます。

○安田政府委員 日本の消費生活協同組合がどういうふうな社会的、経済的

働きをするかということだと思ふのですが、これが、今おあげになりました社会主義国家における協同組合といふものと資本主義国家における協同組合といふものは、おのずからその役割が違うものではないかと考えてせります。日本におきましても、消費生活協同組合が大きいに伸びなければならぬのでありますけれども、御承知のように、非常に小売業者の数が多くございまして、しかも競争が激烈だといふことがございまして、単なるものの販売供給という面だけでは、現在のよほな小売の競争が激烈で、マージンも少いといふような場合には、やつて行くのになか／＼むづかしい点があるうかと思うのであります。そういうような点も考えまして、協同組合は、ものを安く供給するという仕事だけではなくして、一般の生活改善といふような市民の生活と結びついた仕事にも手を延ばして行かなければならぬだろう、そういうようなこともあります。

○安田政府委員 今後の社会におき
今後の社会構造の中でこういう協同組
合といふようなものは非常に重要なも
のだと考えなければならぬと思うので
ありますけれども、それに対する御當
局の御意見を伺いたい。

ましても、協同組合の役割は非常に大きいたと思うのでありますけれども、先ほどから申し上げますように、これが単にものを仕入れて、安く供給するという仕事だけを考えますと、今の日本の商品の流通過程における小売商人の立場といふものを考え方、同時に小売商人の競争の激烈である点あるいはその数の多い点等を考えますと、いろいろそこに問題がありやしないか。そこでそういう問題だけではなくて、生活改善というような問題と結びついで、初めてほんとうに自分たちの組合だという感じをみんなが持つて来る。現在農村におきましては、先般も申し上げたのでありますけれども、農業協同組合は、やはりそういう点において確固たる地盤を持つておると思うのであります。農林省においてやつております生活改善運動といふものがありますけれども、やはり協同組合等を通じてやります点においていろ／＼と私は意見もあり、また進歩しておる点があるのではないか、これは申すまでもなく農村におきましては生産農家の形が同じでござりますので、生活の内容等におきましても大体似たようなものであるといふ点で便利であるけれども、都市においてはそれが非常に個々ばら／＼であつて、非常にむずかしい。むづかしけれども、そういつたようなものの生活改善運動をいたします場合に何をこれのよりどころとするかといふこ

となりますが、やはりお互ひが寄り合つて、自分たちが助け合つていい生活をつくつて行こうといふ運動、そぞらうものを協同組合といふものが取上げるといふことが大事ではないか、こういふふうに私ども思つておるわけであります。この前に協同組合に対する融資の法律をここで御審議願いまして、二十八年度の予算で二千五百万円ばかりの融資をいたしたわけであります。これは二千五百万円が地方庁からも出ておりますから、五千万円になつて働いておるわけでありますけれども、こういふものもやはりそいつた事業等の利用施設をつくる金に実は融資をいたしておるわけであります。そういう点も実は私たちの考え方の一端を表わしておるのではないかと考えておられます。

この資本主義社会の欠陥をいかにもしもつと人間本位の愛と共同の社会の組織にかえて行こうというところに、ロツチデールの協同組合運動の濫觴があつたのであります。従いましてロツチデールの協同組合の理論におきましても、その後の発達いたしましたライファイゼンの協同組合の理論にいたしましても、ここではただ物を安く買ふるといふ卑屈なものではありませんで、大きな理想を持つてゐる。資本主義社会の利潤追求といふ指導理念を否定いたしまして、そらして愛と共同の社会をとい理想に立ち上つて行つたわけであります。今日ただいまお伺いいたしております御当局のお伺い意見を傾いておりまして、私はそういう方が今後段の言葉の中にはいではございませんけれども、むしろ受けられるのであります。これは国民全体といたしましても、今日あのロツチデールのあるいはライファイゼンの協同組合の理想といふようなものを受入れまする精神的基盤というものが、残念ながらわれ——国民のうちに非常に稀薄である。従いましてすでに早く取り入れられました産業組合の制度にいたしましても、今日それが農協となつたといたしましても、そこにそういう崇高な精神といふものは失われ、そうしていたらずらに協同組合自体が利潤追求という形に堕してしまつた、ことににおいてもそういう点が非常に欠けて

おるのみならず、指導いたしまする。生省当局 자체の認識が非常に欠けてゐる、そういうような認識のもとでは、やはり活動は絶対に発展しない。こういふの活発な、そして発展いたしまする先ほど申しましたよろな、歐米諸国によるものであります。私は今の日長のお言葉の中にそういう節の見えないのをきわめて遺憾に思うのであります。そこは認識を新たにする必要があるのではないか、この改正案を出されると前に協同組合の根本の理念について認識を新たにする必要があるのではないか、こう思うのですが、局長の御意見を伺います。

から今日まで相当長い期間を経て来おります。産業組合においてはもちろんさようでありますけれども、消費組合がかりました事業がさっぱり進展ない。その原因につきましては、先ほどの議員の質問に対しまして、局長からも一応の御答弁があつたのであります。まず、どこにその原因があるか、いま一度局長のお考えを伺おきたいと思います。

けれども、やはり協同組合が仕事をやつて行く上に、政府として課税上のことについても保護政策をとつて行くこと、それから金融等についてもいうこと、それから金利等についても考えて行くということ、それから一つの問題は、やはり精神の問題といふことも大きな問題でございまして、組合をほんとうに育てて行こうといふことで、よくなみなんな気持が起らないと、單なる利害だけで結ばれておりますと、何か経済的なつなづきがあれば、すぐそれでやめてしまうと、いろいろなみんなの気持が起らないと、单なる利害だけで結ばれております。なぜかと申しますが、そういうようなものを養成することも必要じゃないだろかと申しますので、そういうふたつの意味からも、組合の仕事をする中堅的な幹部とおそれとあわせまして、そういうふたつの事業だけではなくして、お互いの生活の内容を高めるといったよくな面の仕事もやつて行く必要がありはしないか。いろいろ申し上げまして、あるいは御答弁にならぬかもしませんけれども、そういうふたつのようなことが考えられる次第でございます。

りまして、中小企業金融公庫の貸付金の対象になるはずであります。そういう点が逐次開けつつあるのです。が、現実としましては、規模が非常に小さいために、一般的の銀行なりあるいは信用金庫なりというふうなものが、直接生協に対して融資を積極的にやつてくれないという状況でございます。職域は、会社方面から資金を相当借りておりますけれども、地域の小さい組合では、やはり役職員が借りることについて相当苦労しておることは事実であります。

○長谷川(保)委員 非常に残念なことでありますけれども、そういたしますと、今日この協同組合に対する金融面あるいは資金面は、先ほどお話の、この前の国会できめた貸付金二千五百万円、地方から出すものと合せて約五千万元、それと労働金庫、国民金融公庫というようなものだけのよう伺いました。それで、今回中小企業金融公庫の方から道がつくという可能性も出て来ているようであります。が、中小企業金融公庫の方は、御承知のように実際の窓口は銀行であります。銀行はおそらく実際にはほとんど融資はしないだらうと思います。今日のような程度の消費生活協同組合ではおそらくしない、これは道はついてはほとんど見込みなし、こう思います。それでは、国民金融公庫の方から全国でどれくらいの金が生協の方にまわつておりましようか。

○今村説明員 それはお手元に参考資料が参つておるはずであります。その八十二ページにござりますように、全國で借入金が職域、地域全部合せて六億八千万ほどございます。そのう

ち、国民金融公庫からは地域組合に三百三十九万八千円。これは二十八年三月末現在の調べであります。約千三百万円。それから職域組合は二百三十九万九千円、その他もありますが、総計六百二十八万七千円といふ現状であります。金額は非常に小さいと思ひますけれども、全体の借入金の二・四%とふうことになつております。

から信用事業の問題でもそうでありますし、それすけれども、現在の消費組合の実態といふものが必ずしもよく行つてないものであります。これはあるいはいたちごつこなので、金を返せるようになりますけれども、現実にはいろいろな組合があるわけであります。今度法律を出しましたのも、そういうた組合を是正して行きたいといふのが一つのねらいでありますけれども、そういうたよくなことをやはり見て行かないと、金融の問題等につきましても、現実の問題を解決して行く上に現在いろいろ難点があるわけであります。

なおこの機会に信用事業のことを申し上げたいのであります。この信用事業をやらしたらどうかといふようなお話を実は最初あつたわけであります。大蔵省の方の考え方といひたまでは、労働金庫ができるときに、労働金庫が生活協同組合の資金源になるように考慮しようといふようなことをございまして、協力をしてくれたわけになります。その資料にもございますように、労働金庫からも若干の金を借りているわけであります。もし信用事業をここでやれるようにならすといふことになりますと、これは農業協同組合のように簡単に参りませんで、おそらく中小企業協同組合のようになつて来るのではないか、中小企業協同組合の方でありますと、信用事業といふものをやりまして、これは大蔵省の所管になりますと、その信用事業だけは別のものになつて来るわけでござ

いまして、片一方で供給事業をやる組合があつて、それが同時に信用事業をやるということは、おそらく許さないだらうと思います。そういたしますと、消費組合で金融事業をやるといふ名目はとれます、が、実際は看板は同じであるけれども、事業の実態は離れて来るということになつて参りますので、必ずしも今おつしやつたよろかな点で御満足になるような結果に行かないのではないかという点も心配いたしております。何よりもまず協同組合といふものももう少しかりさせるといふことも、われく／＼としては当面の目的一やないかといふような考え方をしておるわけであります。

きましては信用組合を併設できる、しかし都市の協同組合ではそれができないといふ差別をしなければならぬといふ理由は、どこにあるのでありますよ。○今村説明員 それは生協の現状が、非常に小さな規模のものが多い、たとえば出資金十万円以下といふものが繪体の五十数ペーセント、六〇%近くといふうふうなかつこうになつております。そういう実体から見ましても、やはりその事業が非常に不安定になりかねない。従いまして信用事業といふのは、もしやるならばそれ専門にして大蔵省の指揮監督下に置かせねばならないのだといふことは、われわれ大蔵省へ参りましてこの問題は過去何年かやつて來たのでありますけれども、中小企業ですらもそういうかつこうになつたのだから、生協はまだ早いんじやないか、当面はむしろ自分で信用事業をやるといふうなかつこうにせずに、労金の会員として出資金を出す、それからしかるべき金をまわしてもららう、それが職域なり地域なりの生協と労働組合との結びつきじやないかといふ意向が非常に強いのであります。理論的に申しますならば、やはり農協のようく一本でやらしておいて、しかも経理基準なり財務基準なりといふもので、たとえば安全なように、預貯金の一定期額しか事業にまわすことができないといふうなかつこうにすれば、筋が通るのでありますけれども、実際のところはまだ農協と対々のそういう法体制になるまでには、大蔵省としては相当時間がかかるといふうに見てゐるのじやないかとわれく考えております。

○長谷川(保)委員 結局協同組合としまずならば、これはどこかで循環を断ち切つて、そこへ乗り出して行かなければならぬ。今日の生協の非常事態に微力であるということからいたしまして、金融の道は完全あつちからもつちからもできないといふことになれば、これはいつまでたつてもわれくが考えますよな協同組合にはならないわけであります。どこかでその循環を断ち切つて行かなければならぬ、そういうことになりますから、私は單に今日のものが小さいからといって、今日ただいま伺いましたようなわずかな資金公庫から千六百万円といふような資金の融通しかできないといふようなことをどこかで断ち切つて行かなければならぬ。その指導の責任性にあります当局といたしましては、それに対する方針がなければならぬ。どうもできぬ／＼といふことで行つたんでは、いつまでたつてもできるわけがないのであります。断ち切つて行かなければならぬのであります。そこで一体どこで金融問題を解決して行こうとするのか、どこぞの循環を断ち切つて行こうとするのか、これを伺いたい。

○安田政府委員 先ほどからたびら申し上げますように、現在の協同組合の実情から申しまして、まだそこまで行くには早過ぎはしないだろかと心うことなんありますと、一体それでは何をするかといふと、今度の改正案に盛つたような趣旨でやはりい組合を育てて行く、育てるためには金がいるじゃないかとおつしやいますけれども、しかし休止組合が非常にたくさんありますと、あるいは名義だけあってほ

なんとうは小売商店にすぎないと、いふ字
体がありますと、そういう話を進めておき
くのに対しましても、あるいは消費生産
協同組合にそういう仕事を現にやらせ
るといたましても、おそらく大蔵省
が聞かぬのじやないかといふ気がいた
すのであります。そういう点につきま
しては、順次ひとつ改正の手を及ぼ
て行きたい、というのが私どもの考え方
ござります。

○長谷川(保)委員 戰前は御承知のよ
うに、産業組合があつて、産業組合
の中央金庫の方からこれを融通してお
らうという手がありましたけれども、
戰後そういう手がなくなつた。それで
今何いましたような金融関係である。
これではどうにもならぬ。貸付金が二千
五百万円出でるるわけですが、
これを将来伸ばして行こう、広げて行
こうといふようなお考えがあるかどうか
か。

○安田政府委員 これは私どもといふ
しましては、やはり多くの金が欲しいと
わけであります。二十八年度が二千五
百万円、二十九年度が一割引かれま
で二千二百五十万円であります。大
体これを合せますと一億の金が運用で
きるわけであります。なお私どもは三
十年度あるいは三十一年度におきま
ても、そういう資金を要求して参り
たいと思つております。

○長谷川(保)委員 つぶれかかつた農
協に対しては、御承知のように、再
建整備資金の法律がつくられて、再建
整備資金が出た。この生活協同組合
方には、これが全然ないといふ理由は
どこにありますか。

○安田政府委員 別に理由といふこと
はないのでござりますけれども、しか
かも

し実体が、片方の農業協同組合のことは、これは長谷川先生御承知のように、やはり農業といふ生産の様式が、まことに、いつまでもそのままいきつたままであるわけです。農村といふは、大体八割くらいは農民でございまして、そういう人が協同組合のメンバーになつて活動いたしております。(以下略)

つておりますので、大臣よりこれに
する説明を聴取したいと存します。
葉厚生大臣。

○草葉國務大臣 かねべ／＼わゆる
公務死の軍人に関する処置につ
まして、本委員会等におきましても、
いろ御要望の次第もあり、かつた
熱心に御心配をいただいておりまし
関係から、今回從来の戦傷病者戦没
遺族等援護法の一部を改正いたしま
て、いわゆる非公務死軍人に対しま
る弔慰の方法を決定いたしまして、
く法案として御審議をいたぐ手配
相なつた次第であります。従いまし
長らく御配慮をいただいておりまし
るので、この機会にその内容を申し上
まして、今後の御審議をお願い申し
げたいと存ずるのでござります。以
ゆる旧勅給法の特例に関しまするこ
の、第一条に規定しております軍人
または准軍人が、詳しく申しますとそ
ううことになりますが、この軍人
たは準軍人が、昭和十六年十二月八
日以後において、故意または重大な過失
によらないで、戦争に関する勤務に關
連して負傷をし、または疾病にかか
り、その結果死亡いたしました場合、
及びこれらの軍人が、昭和十二年七
月日から昭和十六年十二月七日まで
間におきまして、故意または重大な
過失によらないで、事變に関する勤
務に關連して負傷し、または疾病に
かかつて、そのため昭和十六年十一
月八日以後に死亡し、または昭和
十年九月二日以後に死亡が判明しな
しまった場合、これらの場合におき
まして、從来は非公務死といたして、
援護法による書類は却下をいたして
おつたのであります。戦傷病者戦没

おさきに申し上げました国会の皆さん方の御要望の次第もありまして、弔慰金を五万円支給いたことに決定をいたした次第であります。そこで現在二月末日に、この戦傷病者戦没者遺族等援護法によつて受けました件数が百九十五万八千六百五五件と相なつておりまして、その中で決定をしてそれぞれ通報をいたしました分が百八十五万八千百六十七件でございます。却下いたしました分が二万七千二百五十二件でありまして、なお裁定を目下慎重に検討いたしております分が七万三千百八十六件でござります。その中には準軍人及び軍属を含んでおります。これらの中で軍人については、却下いたしました分が二万七千二百四十五件で、今裁定未済として検討いたしております分が六万五千五百一件でございまます。これらの軍人関係の大数は、今回処置によりまして、弔慰金を支給し得ることと存じております。従いましてこれらの方々に対しまして、従来その遺族並びに関係者にいろいろと御心配をかけ、また何らの処置を講ずることなしにいたしておつたのでありまするが、今回の処置によりまして、弔慰金となるべくすみやかにその該当者の多くに支給することができるごとに相なるものと存じまして、平素の御要望並びに御心配の点を、この機会にその処置をいたしましたことを、御報告申し上げます。

○中野委員 交付の名称は弔慰金といふ名前でやられるかどうかという点を明確にしておいていただきたい。それからその交付の範囲は軍属に及ぶかどうかなどうことを明らかにしていただきたいと思います。

○草薙国務大臣 交付の名称は、従来の関係もありますので、弔慰金という名称で出したいと存じます。

なお範囲は、先ほど申し上げました平素の皆さんの御要望、御心配の点等から、なるべく従来該当しなかつた人たちに対しまして、広く該当するようにならしめたいたいという趣旨で設けたのですが、いろいろ実際上検討いたして参りますと、軍人につきましては一部これを検討しなければならぬ点があります。また軍属は、いわゆる文官の立場におきましては、従来の文官等の関係に影響しまして、これらの均衡等を考えねばならない点がたくさん出て参つたのであります。従つてそういう点から考え方まして、軍人はほとんど大部分でござりますが、官衛勤務の部員、いわゆる文官に匹敵しておつた方が、これはどちらもひらく立場からちよつと困難ではないかと考えております。またそういう意味と同様的な意味において、軍属関係においては、一般の文官といふ関連において困難であると存じております。その他の関係におきましては、ただいま申し上げたように、全般的にこれを支給するという考え方でございます。

ん国家民族のために召集を受けて、そのために病を得、それが原因となつて死亡した人でありますから、当然今回の用慰金の五万円の支給範囲は、軍人軍属全般に及ぼすべきものだと私は考えておるのであります。ただいまの草葉君の御説明では、文官で非公務の人に対して支給することは相当な支障があると言われますが、私はその数はきわめて少いものだと考えるのですが、現在今回の交付をせんとする範囲から除外される人の数はどのくらいあるのか、まず伺つておきたい。

○田辺政府委員 いわゆる雇用の軍属、文官も合せまして、軍属で非公務でなくなられた方の数は、戦地に関するとしても、内地に限しましても、そろ多くないと思ひますが、いろいろの均衡上議論がありましたたが、その中で他の文官との均衡という点から、除外されておるのでございます。予算の金額の面から財政上の理由によつて除外したものではないのであります。

○中野委員 その均衡上ぐあいが悪いといふ理由を明らかにしてもらいたい。今度の交付の目的は、先ほども申上げたように、国家民族のために召集をさせられ、そのためになくなつた人々に、しかも遺族の心情を十二分に考慮し、国民感情を考慮しての上と私は考えるのであるから、従つて当然この人々にまで及ぼすべきものだと考えるけれども、そのあなたの方の交付のできない理由を、この際もう少し明確にしていただきたい。

○田辺政府委員 軍人の場合におきまして、公務にあらずとして認定された原因、負傷その他によつて死亡いたし

の、非公務の者だけは交付されない、こういう意味ですか、軍属全部に交付しないのですか。

○田辺政府委員 非公務の場合において支給されますのは、軍人及び準軍人だけでござります。

○中野委員 この問題はいすれ一番大きく取扱われる問題だらうと思いますから、ここでは重ねて申しません。

そこで厚生大臣に伺いたいのですが、私は現在の未裁定が非常に多い原因がどこにあるかといふことを近ごろきわめておるのです。あなたもこの方の専門の人であつてよく御承知の通りに、数からいえばわずかな数しか残つていません。ところが審査をしておる過程へ行つてみると、どうも厚生省の審査課の人員の配置とかその処理なんかに相当な欠陥があると私は思つ。ある一つのところでは人が殺到しておつて、ある一つのところではまつたく開散をきわめておるという事情である。私は自分の直観だから率直に申し上げるが、間違つておるかもしません。私の感じた日には、三月からおよそ七月ごろまでにこれをやつてしまえば、あとはこの人たちは何かすつかり職がなくつてしまつとうような感じを持つておるのじやないかとまで感じられるほど、人員の配置といふものが心配でたまらない。しかも未裁定の諸君の近ごろ一番心痛の種は、何と云つても自分が国家のために召集をされて、そのことによつて病を得て、死んだのであるけれども、たまく法律のいわゆる足りざるところから、これから漏れておると云ふことを中心にされておるのであると云ふことを中心にされておるのは、私は非常に深刻なものだと

思うのです。現在あなたの方でも非常に急いでおられるることはわかるのですが、この未裁定は一体いつまでに裁定をするつもりか。その気持をまず伺いたいと同時に、もう少し裁定の範囲を考慮に入れて、遺族の人々の安心のできるような方法をすみやかにとつてやる道はないのか。厚生省の援護室の方々は非常に一生懸命にやつておられるようですが、前の山縣君にしましても相談熱心にやつたのです。今度の草葉君は、何といつてもこの方の専門家なんだから、第一番にこのことを片づけなければならぬ。その促進の方法、決意等をひとつこの際伺つておきたい。

わかれでおりまして、御承知のよろしく、部隊が全滅をいたしましたり、あるいは現地召集による部隊等の関係で、まことに資料入手が困難な状態であります。そういう關係で何とか少しあります。そういう關係で何とか少しあります。でも——俗な言葉で申しますと、ひつかりがつて、そしてそれが公務死んでしまっては、府県を通じ、直接に連絡等をいたしておりますが、かような未認定の方々に対しましては、そういう意味で何か手がかりがありましたらその資料をひとつお出しいただいて、なるべく早く解決いたしたいと存しております。ただ願わくばその解決は、却下してしまいますならば簡単でござりますが、そちらではなしになるべく望まれるような解決に持つて行きたいというので、実は資料をあせつておるような次第であります。もしや少しでもそういうふうな資料がありますならば、町村役場方面には御連絡をいたぐとけどうであります。

あの異議の申立ての内容を見ますと、やはり市町村役場を通じてどうにか書いてあるのですが、そういうことはないとの市町村役場にも徹底してもらわなければ困ると思うのです。何らかの通知を出して、そうして異議のあるこれはいろいろと書いますけれども、国家、民族のために召集され、それがもとで死んで、それでせざるを得ない、めんどうを見てくれない。このくらい大きな異議の申立てはないのです。あとはこまゝ、よけいなものをつけただけで、つけたりなんどだ。根本の一番大きな異議はそこにあるのだから、ひとつ親切に取扱つてもらいたいと思うことと、却下に対し下のこの異議の申請ができるだけ懇意にして、さらに検討を加え、審議会でこれをできるだけ取上げるように至急手配をしていただきたいと思うのであります。

○**草葉国務大臣** 却下されましたが、内訳を申し上げますと、二月二十七日現在の数字でありますと、戦地関係で千三百六十八、外地が千六百四十四、内地が一万六千五百五十三、合計まして一万九千五百六十五、これが死因に関する数字であります。それから本人の身分に関する点では四千三百六十六、その他が二千八百六十二、合計しまして二万七千二百三十五であります。さつき申し上げました数字よりもこれは十人少くなっています。そこでこの内容から大体御推察いたたくことができると思いまして、すが、査定におきまして、あるいは身分関係、あるいは勤務地関係等において再調査をし、あるいはさらに再申請をして検討をするという余地のある場合があると存じます。そこで現在までに相当出て参りました中で、慎重に検討いたしまして、復活いたした件数も相当ござります。

きたいのですか、たゞく立つのはなんどくさいから、二つ一緒にありますわ。たゞ
えは子供はあり、女房はあつたのだが、夫が戦死後において女房は他家に
縁づくとか、子供は死ぬとか、あるいは女房は死ぬとか、親はないとか、い
わゆる恩給法、援護法のこれを支給され得べき人がない、しかし実際はこの
人が出征をするまでは一切の生活のめんどうを見るとか、ないしはこの方たち
がなくなつた後におけるところのまゝなりことを一切引受けといふよな場合
が相当あるのです。これが今度の用
慰金の範囲の中に入つて、これに対し
て交付するのかどうか。つまりまつり
ごとをしている人にやるかやらぬか。
といふのは、未帰還者留守家族等援護
法の一部を改正する法律案が予備審査
されてこつちに参つておりますが、こ
の改正の中には、遺骨の引取り經費と
して、遺族がない場合においても、葬
祭を行つた者があればその者に支給す
ることができるといふように書いてあ
るが、決してこじつけられるわけではない
けれども、弔慰金の性質から行けば、
当然そういうような人々にまで支給す
ることが正しいと思うのですが、これ
に対してもどういうふうな考え方を持つ
ておられるか。

きたいのですが、たぶん立つのはめんどくさいから、二つ一緒にお伺いいたします。

まあ本国会中に通ることはきまつたことなんですが、一体何月ころまでにこの国債を交付することができるか。数からいえばわずか七万五千か八万くらいのものなんだから、あなたの方の手をもつてすれば何でもないことなんです。

しかも早い機会にこれを交付してやるようにならたいと考えますから、この見通しも伺つておきたいと思う。この二つをお答え願いたい。

○草薙厚生大臣 前の問題は私からお答えを申し上げたいと存じます。弔慰金の支給範囲でござりますが、これは

従来の弔慰金の支給範囲と同一でござります。御ひて兄弟までとさう相なるわけでござります。ただいまお話をありました遺骨等が引揚げられた場合に支給しまする葬祭料は、実際に葬祭をする人にはいたしたわけでござりますが、この弔慰金をそれと同じようになりますことは、この前の弔慰金の支給との関係もあり、また当時御審議をいただいた戦傷病者戦没者遺族等援護法のあの御意見等によつて——あれは皆さんから御修正をいただいてあらうふうになつたのであります。が、従いまして、その点をはずして実際やつて行くということになりますと、この関係はたいへんで、むしろいろいろ困難を來す場合があります。御受取つていたしますからけつこうでござりますが、今回の場合はそうちやなしに、遺骨を私もまつてゐる、私もまつてゐるといふ人たちが相当あり、現在においても一人に何人もあります。またあるわけあります。むしろこの前皆さんの方で御修正になつたあ

の範囲でいたす方が適當であるといふようにしたいたいと考へます。

○田辺政府委員 第二の問題は次長からお答えいたしました。

○田辺政府委員 今回拡張になりまして、弔慰金の支給につきましては、でき

び現在未裁定になつております件につきましては、書類が手元にござります

いと思つております。却下した件数及び現未裁定になつております件につきましては、書類が手元にござります

ので、そうお手数をかけずに入院できるものと思つております。まだこまか

い手続の点はきめておりませんが、で

きるだけ簡素化いたしまして、早く裁

定をするように努力したいと思つております。

○中野委員 これは法案が出てから大いに議論をしましよう。ただ田辺君の

関係の問題ですが、できるだけすみや

りまして、一向すみやかでないのが常識なのであります。しかしこれは早く

していただきたいという要望だけにとどめておきます。

先ほど草薙厚生大臣の話で一点納得できぬことがあるのです。われくは

場合によれば相当考慮の上に立つて修正しなければならぬと思うのです。と

て、その点を考慮に入れねばならないが、その少數の場合を考慮に入れ

ないが、その少數の場合を考慮に入れて、大多数の人たちをば抹殺するとい

うことは納得できないので、この点はひ

とつ新厚生大臣として草薙君の腕の振

いのでは、遺骨をあそこでまつているところなんだから、大いに考えていた

いところなんですが、どうかその気持で今

いたしませんが、どうかその気持で今

度の一部改正をされる場合には御配意を願いたいとこうことを希望しておき

ます。

○小島委員長 山下春江君

○山下(春)委員 この前の恩給法の改

正のときに非常に強く要望いたしてお

きまつた点で、今度の拡大されたもの

です。ところが、戦死をしながらそれが却下されている原因は、今申し上

る次第でござります。

○田辺政府委員 第二の問題は次長からお答えいたしました。

○田辺政府委員 今回拡張になりまして、船員以外の船員、と申しましても、こ

れは非常にやむを得ざる事情、すなわち船上運営会に登録をするいとまな

く、たとえば現地で拿捕された船をた

だちに軍用に転用したような場合、船員はこちから別便で送りまして、

それに乗せて、まつたく戦争状態と同様な状態の、いわゆる戦時的な業

務に服されたことによってなくなつた

あるいは大きがをした者があるのであります。それは大体数は百名そこそ

たまく法律で定めている受け得べき対象の者がないから、従つて除外され

ているといふようなことは、今回の弔慰金の場合においては、私は相当考慮をしておきたいと思つておきます。

先ほど草薙厚生大臣の話で一点納得できぬことがあるのです。われくは

場合によれば相当考慮の上に立つて修正しなければならぬと思うのです。と

て、その点を考慮に入れねばならないが、その少數の場合を考慮に入れ

ないが、その少數の場合を考慮に入れて、大多数の人たちをば抹殺するとい

うことは納得できないので、この点はひ

とつ新厚生大臣として草薙君の腕の振

いのでは、遺骨をあそこでまつているところなんだから、大いに考えていた

いところなんですが、どうかその気持で今

度の一部改正をされる場合には御配意を願いたいとこうことを希望しておき

ます。

○田辺政府委員 今度の改正案で考え

ております点は、一つはいわゆる非公務死亡者に対する弔慰金の支給でござります。もう一点は傷害年金の支給範

域の拡大であります。恩給法によつて

もらう傷害の程度が国会修正によつて拡張いたしましたのに対応いたしま

す。援護法におきましても傷害年金等の支給範囲を拡大する措置を講じてお

ります。今御質問になりました船員の問題につきましては、はつきり記憶い

たしておりませんが、C船員として取上げ得る人はできるだけC船員としていたが、開港をもつて御処置を願つたがということをちょっと聞きたいの

でございますが、それは船員の場合でございますが、それは船員の場合でございましたよろなことから支給される人間が除外されているからであります。

○山下(春)委員 法案がまとまります前にそれをひとつ御調査を願ひます。

きよう田島事務官のおいでがありまし

たならば、多分その間の事情をよく御承知だと思いますので、これはぜひ御

調査を願います。恩給法の一部改正のときには非常に強く要望したの

あります。それは大体数は百名そこそ

たまく法律で定めている受け得べき

対象の者がないから、従つて除外され

ているといふようなことは、今回の弔慰金の場合においては、私は相当考慮

をしておきたいと思つておきます。

○山下(春)委員 法案がまとまります前にそれをひとつ御調査を願ひます。

きよう田島事務官のおいでがありまし

たならば、多分その間の事情をよく御承知だと思いますので、これはぜひ御

調査を願います。恩給法の一部改正のときには非常に強く要望したの

あります。それは大体数は百名そこそ

たまく法律で定めている受け得べき

対象の者がないから、従つて除外され

ているといふようなことは、今回の弔慰金の場合においては、私は相当考慮

をしておきたいと思つておきます。

○山下(春)委員 法案がまとまります前にそれをひとつ御調査を願ひます。

きよう田島事務官のおいであります。今日は見ますれば当然可とすべきもの含まれてゐるといふことは考え得

るものでござります。現に不服の中立でござりますが、非常に急

いでやつた関係もありまして、中には

今日から見ますれば当然可とすべきもの含まれてゐるといふことは考え得

るものでござります。現に不服の中立でござりますが、非常に急

いでやつた関係もありまして、中には

</div

十九件決定がございまして、そのうちたしか三十件くらいが却下で、可となつたのが十九件くらいであります。これはもつとも非常にドリケートなケースを特にあげてやつた関係もあるうかと思ひますが、これは過去において裁定した中で死因が当然公務と認めてさしつかえなかつたものが誤つて却下にされたといふ事例でござりまするので、そういうものもあるうと思ひます。私どもも時間が許す限り過去に裁定になつたものをもう一べん見直しまして、すでに審査会等でこういう事例は当然公務だと決定になつたと同じ例のものは、その申立てを待たずして取消して参るといふ考え方を持つておりますし、私たちの現に日につき耳に入つた中でも、再調査の結果申請がなくても修正した事例がござりますので、これはできるだけそういうふうに努めたいと思ひますが、まだ未裁定のものもござりますので、全部一挙にやるわけには參りませんが、できるだけそういう気持ちで逐次やつて行きたいと思つております。

任において再調査を一へんやつていただきたいと思います。私一つ簡単に例を申し上げておきます。二回にわたつて七年間戦地にありました。そしてその人の末亡人は今六人の子供を抱えております。その末亡人もあるまりこうな女でないために非常に生活に困つております。ところがあの苦烈な戦争の最中に死んだのに、メチール中毒死といふ審査をどういう軍医がどういう立場でやつたか、私も考えて何とも判定がつかないのでありますて、却下になりますから、厚生省へ文句を言いに行く前に一応県の方を調べてみましたら、県の方の合帳に確かにそう書いてある。それでその軍医はだれか調べてみたかと言うと、その軍医もなくなつてわからぬいと言う。ところがその家庭はどうかと申しますと、軍隊に出ていたる間も非常に困窮家庭として、たしか毎月二円五十銭か何か――生活保護法というのはあのときははないのですが、救済している金が二円五十銭か何かありました。当時から貧困家庭でありますしたのが、貧困家庭のまま今日六人の子供を抱えているのでありますが、それがメチール中毒死ということになつて却下になつて来ております。現実に戦地におりましたのが七年、こういうことから見て、どうしても私はこれをあきらめるという勇気がないものでござりますから、多少この審査をお厳しそ過ぎた点も過去にあつたかと思いますので、その死因は多分はずれる死因かもしれません。しかしながらどうも戦地でメチール中毒死という、もしメ

チードルを飲ませるようだつたらそれ
その軍隊が不都合でありまして、メ
チールなど飲ませないで、ちゃんとと
た酒を飲ませればいいのであつて、そ
んな待遇をしたことはたいへんけしか
らぬ話だと思います。そういう点から
一応却下処分をなさいましたものに対
して今日ならまだ手もあることでも
りますから、厚生省の方で自主的に更
調査をせひともひとつ御実行いただき
たい。あれこれ例がたくさんございま
すけれども、そんなことを申し上げな
くとも、たいてい御調査の当時おわかれ
りだと思いますので、不服の申立ての
ない者でも、腹では全部不服なんだと
いうことの上こお立ちいただいて、更
調査をもう一度ぜひ御実施を願いたい
ということを私強く／＼要望しておき
たいと思ひます。

三号の原子被爆をこうむった日本人として、第一号、第二号、さらに今回の第三号の原子被爆をこうむりまして、世界の人類二十億の中で、特に原子力による惨禍に対しても最も発言する権利もあり、また最も敏感であるわが国民としては、今回の事件はまさ／＼と島、長崎を思い返したであらうと思ふのであります。

そこで、特に厚生行政だけについで申すのですが、十四日の日に船が帰ってきて来て、原子放射能を持つておるところの元素を包含したその魚が、東京の築地の市場に参りましたのは十六日でありました。東京は比較的早く手を取られておりますが、新聞報道によりますと、東海、北陸あるいは近畿等の二十数都市にも市販されております。阪等においては、ガイガー・カウンターに放射能が検出されておるのでありますが、そういう点で、今回のことなことは從来になかつたことでありますから、これをもつて必ずしも衛生当局の手落ちだとか、そういうことを責めるのはありませんが、十四日によつたものが十六日の午前築地に来ておるのであるが、それに対する手の打ち当たつたのはなかろうか。とするならば、どういう点にそういうような結果が出て来たのか、その点に対して大臣方が、厚生当局においても多少おそがつたのではないかろうか。とするならば、この問題の御報告を最初にお受け取りになつたのはいつでありますか。まだこれから承りたい。

最も大きいシヨツクを与えております。そこで実は昨朝その間の事情は昨朝現地に關係者を派遣いたしておきたいと存じます。

焼津の港に船が着きましたて、現在までわかつておりますのは、乗組員が二十三名であったように存じます。そのうち二十二名は焼津隔離病舎に隔離いたしまして全員の検査を行つて、その後の経過状態を現在観察中であります。一名は重傷のために東大病院に運んで、今入院中でございます。被服類からも放射能が検出されましたので、全部とりまとめまして、これをそれぞれ格納いたしております。まただいま申上げましたように、作朝ただちに係官を派遣いたしまして、広島の方面あるいは東大の方面からも参りまして、目下現地の調査をいたしております。追つて報告が参ることと存しております。そこで東京の方におきましては、昨朝早朝魚市場の方に着いて、その方から東京都にとりあえずこの魚の処置について打合せがあり、昨朝午前九時ごろ東京都から厚生省の方に連絡がありまして、従いまして食品衛生上の立場からこれを十分注意して処置をする方法をとつたのであります。そういう次第であります。これが処置につきましては、科学研究所の山崎博士の意見を求めまして、結論的には、魚の実体について放射物質の含有の有無を検査して、その結果食用に

適するかいかを判定することが必要であるというお話をありましたから、昨朝午前十時ごろ東京都におきまして、原爆に遭遇いたしました市場入荷の魚の処置について、それも関係者をお招致いたしまして、本省からもそれぞれ関係者が出来まして緊急協議をいたし、実物の検査の結果、私の方に参つております報告によりますと、ガイガーメーターを使用した結果、三〇センチメートルの中に七・五ミリメートルのレントゲン量の成績が出て來た。従つて食用に不適当であると決定した。こういう決定をいたしまして、一部研究材料を収集しました以外は、全部箱詰のまま地下一メートルのところに埋却処分をいたしたのでござります。そして東京都に参りました分は、全部市場に出すことなく、昨日の午後三時に完全にこれを食いとめることができたのであります。焼津の水揚場におきまして引揚げました数量が二千二百九十九貫くらいで、二百四、五十貫を残したあとは全部それべく発送いたしたようございます。十三府県に出したようでございます。確実にあとで詳細に部長の方から御報告申し上げることにいたします。それべくの関係方面には全部手配をいたしまして、調べました結果、行先と魚の量と種類とがわかりましたから、食いとめるものはただちに食いとめたのであります。一部市販に流れておる心配のものもありますから、後刻その場所等はここで發表いたしておきたいと思います。こういう状態で、食品については措置をとつております。

福龍丸であつたと存じます。九十九トンで、乗組員の大部分は船員保険の被保険者になつておると存じます。調べますと、四十八名が船員保険加入者であります。が、今度乗つて行つた人には二十三名であつたと、報告であります。船であるので乗船するときと下船するときある関係で、福龍丸の船員保険加盟者は四十八名であるけれども、今回出て行つた人は二十三名であつたといふので、これらの詳細につきましては、現地に行つておりますから、後刻報告があると思います。ですかね、二十三名のほとんどが船員保険に加入しておるのではないかと思います。

一時の臨時雇い等で行かれた場合は別であります。が、そうでないと、船員保険法によりましてこれら医療、家族等の手当は一切いたす予定をいたしております。従いまして、医療の給付一回はおありますまでに三年以上かかりますと三年で打ちることになつておられます。従いまして、医療の給付一回まで治療を続けて参る。その他、これは仕事中に起つたことと認定されますので、傷病手当として医療を続けながら四箇月間は現在の俸給を本人に渡りますが、その期間内であればなおるまで治療を続けて参る。その他、これぞは仕事中に起つたことと認定されます。その他今後の治療の状態によつて、それべく船員保険法によつて相当処置ができることにいたしております。魚肉の問題につきましては、それぞれ発送いたしました先、それが市販を行つたと思われるところについてが、原子病といふのは、御承知のように

に広島の原爆でも、原爆を受けてから数年間何ら異状がなく、数年たつてから初めて症状が現われて来るものもあるわけです。検疫法によるコレラをしてもベストにしても、潜伏期間が四年とされていて、それが過ぎればもう発病しないということは百パーセント確実なことです。ところが原子病については、その潜伏期が数年にわたる。さらに魚を食つた者はその魚で骨髓まで胃されると。それが数年かかる。従つて数年間といふものは不安のうちに過さなければならぬ。そこでそういう立場に立たれた方には、今後数年間あるいは數十年間大きな不安を与える。こういうような見地からも、今回の問題で、あるいはこの放射能を含んだ魚を食べられた方は、おそらく戦々きり起きようとして今後十年ないし數十年の人生を送らなければならぬ。そういうような問題から非常に大きなショックを与えておる。十四日に第五福龍丸が入つて来て焼津の病院で午前十時には大井という医師の診断を受けておる。十四日の十時に診断を受けて、大体その報告がわかつておるにもかかわらず、十六日の午前二時に築地にそのものが来て、それからあわてたといふようなことは、その間に——従来原子力に関しては法制的の立法措置といらぬものができておりませんから無理からぬこととは思いますが、静岡県の衛生部で最初の患者を見られた大井氏からいつ報告を聞かれて、そして静岡県当局はそれをいつ厚生省に報告されたか、同時に静岡県当局は、いつ焼津に出張されて現地のそぞういうような第一線の対策に当られたか、そういうような時間的の問題、これは大臣ではちょ

つとおわかりにならないでしよう。ら、ひとつ政府委員からお伺いしたく思います。

○補本政府委員 お答え申し上げます。十四日の午前十時ごろ船が焼津港に到着いたしました。午後共立病院に参りました。そこで診察を受けてきましたので、そこで一部の原因がわかつておらなかつたためにそのまま過しまして、十五日の朝になりました。どうしても自分と患者とのじやかなからうかといふこともちらついてはふに落ちないといふことで、わざちに東大にその中の最も重い患者を送りました。そこで初めて科学的な検査をした結果、これが放射能によるものであるということが決定いたしました。従いまして、この点で約一日近いむだな時間を遅延いたしました。予期しなかつたことは言え、私どもも常時の地方指導に欠ける点があつたことは何とも申訳なく思つておる次第でござります。しかしながら十五日以後におきましては、これが表面から決して定をいたしましては、これまで当初医者からの申出がなかつたために、結局東大ではつきりするこ

ようやく県も知つたような次第でございまして、そのため、県の手配もなり遅れまして、やはり十五日以降に初めて県が処置をとつた次第であまして、この県の処置もまた厚生省も同様約一日を経過いたした次第であります。これらはいずれも最初のことありますし、どうも何とも申訴ないかと思います。この点は厚く遺憾の意を表したいと存じます。

○柳田委員 これは実際に今までことう例がございませんので、責める子も無理でそれはよくわかつておるのであります。が、県の衛生部が焼炭を行なったのが十六日午後一時というふうに新聞にも報道されておりますが、どうも少しく最初の行動が県の衛生部としても不活発ではなかつたかと思つておるのです。小林都公衆衛生部長さんも「こんな危険なものが市場に持ち込まれる以前に入荷を止められなかつことは大きい問題で、都民を蠶がせ、まことに申訴ない」というよつたことを、これは読売新聞に書いておるのであるが、この点では少しく県の当局の臨機応变の处置が足りなかつたのはなあろうかといふふうな気がいたします。

またここで問題になりますのは、ういう件について準拠される法律としては、食品衛生法あるいは検疫法等があるううかと思うのですが、そのほかに何かござりますか。その措置はともかく、法律としてはどんなものですか。

○楠本政府委員 法律的に处置できますものは、今回の場合は考えますと、これによつて有毒化した魚等を食品衛生法によつて廃棄処分に付することです。そのほかには処分としていることがあります。そのほかには処分としていることがあります。

○柳田委員 そうしますと、このたびの乗組員二十一名は、足止めして、十六日焼津市の市立病院隣離病舎に収容された、これは朝日新聞が書いております。それから船舶は焼却するよりしかたがなかろうというようなことも同新聞に出ておるのでありまするが、これらに対するこういうような強制——隔離病舎に収容するとか、船舶を焼却するといふようなこの準拠法令は、何でありますか。

○橋本政府委員 これらはすべて法的根拠をもつて強制するものではございません。たとえば船体の処理の問題についても、これらはきわめて危険なものでありますので、詰合ひの上これを処分する。あるいは現在の法規の範囲におきましては、これらの被害者を一箇所に入院させるというような根拠は何にもないのです。現在は、この点についてはたまたま各船員の同意を得まして、経過をまとめて観察しながらの入院とせずに、合宿のような意味でお願いをいたしました次第であります。

○柳田委員 そこで大臣にお尋ねいたしますが、幸い今回は放射能を持つた灰をその船が持つて帰つたのですが、こういうような灰が台風とかそういう大きな風にでも乗つて内地に来るというようなことも考えられるのではないか。われくから言うならば、こういう原子兵器をつくることすら禁止したらしい、平和的な原子力は国際管理に破滅に陥れるようないろいろな研究を今後さらに続けて参るであります、なおこれの十倍、百倍もするよ

よう。しかも公海において無期限に一定の場所を占拠して、そこで実験をするというようなことは、おそらく前半未聞で、ここにも大きな問題がありますが、そういうようなことは、どうせアメリカのことになりますから、今後も強行されるだろう。そうなつて来るとき、どうしても日本の地勢上、あるのは船は持つて来なくとも、天候が持つて来るというようなことも、全然荒唐無稽で想像できぬとということではないと考えられる。あるいはまたこういふような第二の事例が起らぬとも言えないといふような場合でありますから、こういう危険な、しかも潜伏期間が数年にもかかり、しかもかりに出たなら、非常に治療の困難などいう問題に対しても、早急というわけには参りませんが、少くとも検疫法そのものを何とか改める必要があるのでないか。検疫法は、御承知のように、国内に航空機もしくは船舶によつて伝染病を持つて来る、そういう場合のそれに対する処置、あるいはその航空機とか船舶の処置を規定しておるのであります。ところが航空機の発達で、開港といふ字を削つて、検疫法になつたのだが、原子力時代になると、伝染病といふような範疇以外に、こういう放射能によるところの危険なものも当然検疫法に纏込んで考えなければならぬのじやなかろらかといふらにも考えられるのであります。これに対して大臣はどういうようなお考えでありますか。

○草葉国務大臣 御意見ごもつとあると
私たちも考えます。従いまして検疫法
等についても今後検討の余地があると
思います。今までかような事例は想像
もしいたしませんし、あつたこともござ
いません。従つて万事篤いたままの状
態で過しておるのであります。法律的
にも今後たいへん参考になつたと存じ
ますから、御意見等十分尊重して参り、
たいと思います。

○柳田委員 検疫法のみならず食品衛
生法等についても同様なことが言える
のではないかと思います。

そこでこれの治療の問題であります
が、今回の被寄者を治療する場合に、
いかなる放射性元素がこれに作用して
いるかとということを解明するのでなけ
れば、その治療の根本方針は立たぬと
思う。それでいかなる放射性元素が作
用しているかということを解明して行く
と、アメリカがいかなる稀元素を使
い、いかなる放射性元素を使つて、い
わゆる原子爆弾を製造しているかとい
う秘密が暴露する。MSAのちやちな
武器をもらつても秘密保護法をこしら
えなければならぬというのであります
から、これが医学的治療でも、アメリ
カはおそらく何らかの制肘を加えて來
るのではないかということをおそれる
のであります。そういうことになつた
ら、治療はできない。これに対しであ
れわれはあくまでも人道的立場に立つ
て、どういうよな放射性元素が作用
して、人体にいかなる支障を与えた、
従つてこうひう治療をするといふこと
は、日本としては毅然たる態度で臨ん
で行かなければならぬ。仮定の問題に
は答えられぬとおつしやるかもしれま
せんが、こういうことは当然予想され

ういう治療にあたつて、あくまで科学者を信頼して、放射性元素を解明するなり、本人の罪に帰することのできなきを期して行かれる決意があるかどうか、お伺いしたい。

○草葉国務大臣 この点は治療の医学的な立場から十分科学的に検討いたしまして、治療の万全を期して参りたいと存じます。

○柳田委員 私がお尋ねしておるのは、これを治療して行く場合には、どういぢような放射性元素がこれに作用しているかということを医学的に解明しなければ、治療ができない。そういう場合に、アメリカの方から、今実験中だから、そういうことを解明するのには差控えてほしいといふような要請があつた場合、どうされますかといふことを聞いている。

○草葉国務大臣 これは広島の場合でもそうでございますが、関係者と連絡いたしまして、治療に十分の方法を講じて参りたいと思います。従いまして御質問にございましたような心持をよくくみまして進んで参りたいと思います。

○柳田委員 そこで患者の治療でございますが、この治療に関しては、船員保険に入つてゐるんだから、それで行けるということになりますが、この原子放射能によるところの病気は当然慢症化するのでありますし、ことに骨髄等を冒しましたら、一生の病気になります。これを船員保険というよろざ限定された治療期間において、限定された費用においては、とうてい十分な治療はできないと思う。これは特別な例

であつて、これを船員保険でまかなかないといふことは、患者は、今大正の三月にわたるよろな万全を期した治療はとどめられません。従つてこういふとくまで特別な例は、これは当然アメリカからアメリカにでも治療費の補償を要求するなりして、最後までこの治療の完畢を期せられる御決意があるか、これをひとつ承つておきたい。

○草薙國務大臣 私はさつきは不確定で申し上げておつたのであります。が、たゞいま連絡がございました。二十三名全員船員保険に加入をいたしておるといふことがたゞいま連絡がございました。そこで船員保険の療養給付だけでは不十分な場合があるということであることは予想されるかもしませんか、とりあえずはこれによりまして処置を講じて参りたいと存じます。今後の処置につきましてはこれはいろいろな方面に關係いたしますので、よく検討して参りたいと思います。

○柳田委員 このたび帰つて来ましたうちで、特に重症の方は、幸い生命はとりとめるかもしれないということになつておりますけれども、これは船員保険の限られた治療期間では根治しないことは今からわかつておる。すでに広島の実例でわれわれは知つてゐるわけだ。従つて船員保険では治療できなければ、従つて船員保険では治療できません。但是对于医学的な治疗方法が確立されますが、この確定の上に立つて、大臣はどういうふうな方法でやるのですか、お伺いしたい。

○草薙國務大臣 私ども実はまだ船員保険関係の方で相当程度まで行けると存じております。たゞいわゆる放射能に対する医学的な治疗方法が確立されてしまらない現状だと存じます。広島の

研究をいたしておられまする現状から考えましても、これに最も即応した医学的な治療方法がどういうふうにしてなされるかというものがむしろ今後の研究課題になつておると存じます。そういうのとでこれらは今後の医学的な処置をよくされべくの担当の方々と研究いたしましたので、船員保険法でやれない状態になつたときの十分な方法を検討して参りたい。つきましては今後も相当程度までは船員保険法で行けるのではないかと考へておりますが、しかし今申し上げましたようにこの放射能に対しまする医学的治療といふものが新規の分野でございますから、ここで確言はできないと存じます。

○草葉国務大臣　「これは先ほど柳田先生も仰せになつたように、広島の場合には別でござりますが、今回のような場合は初めてでありますので、従いまして三年間の治療期間中はどうしてもできないといふ状態もお話をのようにありますけれども存じます。十分まだ検討いたし、あるいは先にお話にならぬまでも立法的処置が直接医療の関係だけではなくとも検討しなければならない点もあるうかとも存じますので、よく検討いたして参りたいと思います。

○柳田委員　患者の方はそれぐらいにしておきますが、家族等が生計の基礎をとられた、そういうような家族の生計はどういうふうな考え方でめんどうを見られるおつもりですか。

○草葉国務大臣　これも先に申し上げましたように、とりあえずは船員保険法によりまして、家族に対しましては、傷病手当金を出しますが、これは現在の規定では四箇月間は全額を支給する、四箇月が過ぎますると二年八箇月間はその六〇%を支給するといふことに相なつております。とりあえずはこれを支給いたしながらこれらの点につきましても検討いたして参りたいと思います。なお現在の法規から申しますると、船員保険法で家族の傷病手当等が不十分でありますと、他のいろいろな方法等も検討して参らねばならないのではないか、それは内地にありますので、とりあえずは船員保険法によりますと、船員保険法で家族手当をいたります従来の場合等も検討すべ余地がありはしないか、ということを考えられますので、とりあえずは船員保険法に

しまして、あわせて検討いたして参ります。
○柳田委員 昨日予算委員会でわが党の藤原道子君の質問に主計局長は、他に適当なあれはないので生活保護法でめんどりを見る事になるよりしかたがないからうそというようなことを言つておられるのですが、これはそういうよくな意図でおやりになるのかどうか。
○草葉国務大臣 生活保護法の道もありますが、それぐの方々がそれぐ手当を受けております、それによつて、その手当金は今申し上げました期間中は出せますのでおそらくその範圍において御生活をなさつておつたのではないかと存します。しかしいろいろ特別な費用がいるためにどうしてもそれだけでは不十分であり、またそれが切られたあとにおいて困難な状態にあるとなりますと、生活保護法等が当然発動して参ると存じます。とりあえずは傷病手当金で支給をいたして参りたい。

献する大きな責務がある。そういう意味で、今後原子医学上いろいろとこの問題を御研究されると思うのですが、科研にいたしましても、あるいは予研にいたしましても、その他研究機関どこどこにいたしましてもほとんど予算がございません。従つて厚生省としてはこういう原子医学を究明せられる上において、現在の予算の中から、あるいは確定になつておりますけれども、何からやりくりをするとか、あるいは予備費からでもこれを要求して、科学者をして移転の憂いながらしめるようになり研究されるだけの経費を計上される用意があるかどうか、これをひとつ承つておきたい。

昭和二十九年三月二十四日印刷

昭和二十九年三月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 大藏省印刷局